

会社説明資料

– 2026年3月期第2四半期 –

2025年12月

株式会社 じもとホールディングス

株式会社 きらやか銀行 株式会社 仙台銀行

目次

1. 次世代バンキングシステム更改・トピックス

次世代バンキングシステム更改	… 1
トピックス	… 5

2. 中期経営計画の進捗状況

① 経営理念と目指す姿	… 7
② 中小企業支援の深化	… 8
③ 業務変革（DX）	… 9
④ 経営管理	… 10
⑤ SBIグループとの主な連携状況	… 11
⑥ 業績回復への取り組み（きらやか銀行）	… 12

3. じもとグループのサステナビリティ

① サステナビリティ基本方針	… 13
② サステナビリティ投融資方針	… 14
③ 中小企業支援を通じたサステナビリティ	… 15
④ 主要課題への取組み	… 16
⑤ 人事戦略、投資	… 18

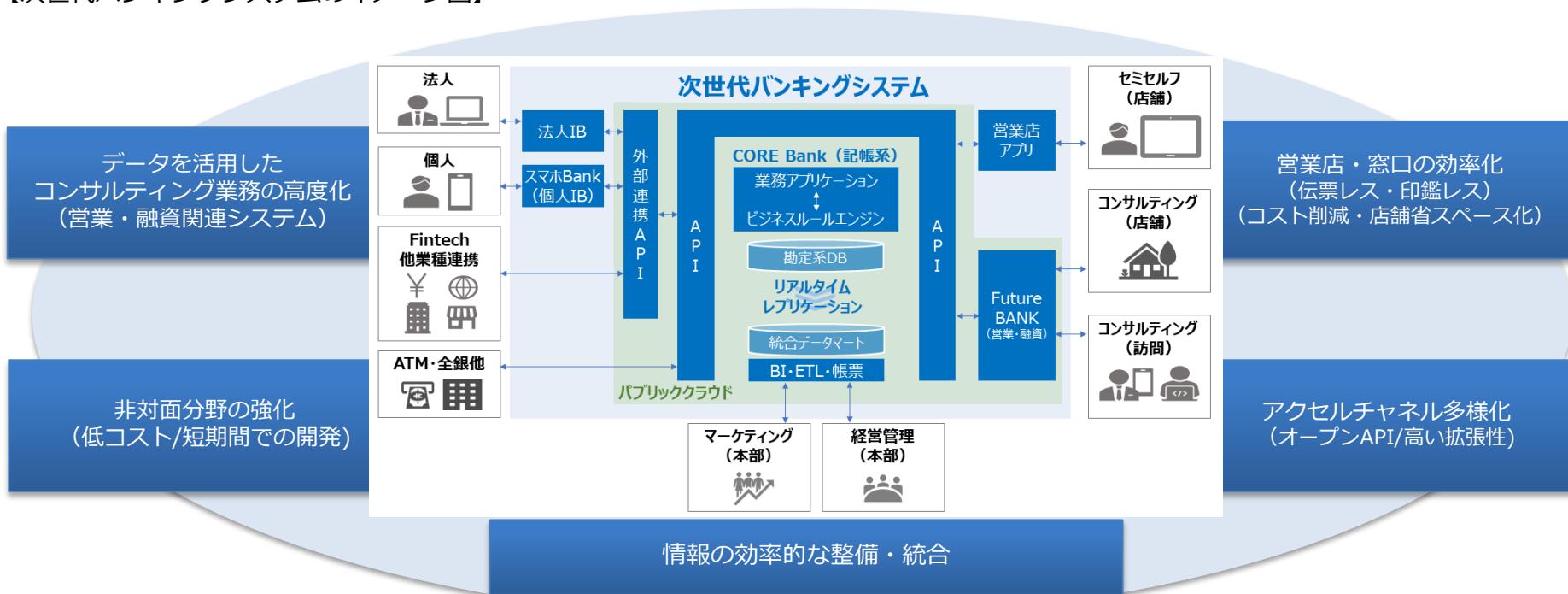
4. 2026年3月期第2四半期 グループ決算の状況

① 決算の概要	… 22
② 資金利益	… 23
③ 貸出金・預金	… 24
④ 有価証券	… 25
⑤ 役務取引等利益	… 26
⑥ 経費、経営効率化	… 27
⑦ 与信関係費用、金融再生法開示債権	… 28
⑧ 自己資本比率、ROE	… 29
⑨ 中期経営計画目標と実績	… 30
⑩ 2026年3月期 業績予想と配当予想	… 31

1. 【次世代バンキングシステム更改】SBI次世代バンキングシステム採用決定

- (1) 2025年9月、当社グループは、SBI地方創生バンキングシステム株式会社が提供する「地域金融機関向けクラウドベースの勘定系システム（以下、次世代バンキングシステム）」の採用を決定いたしました。
- (2) 次世代バンキングシステムの特徴は以下のとおりです。
- ①アマゾンウェブサービス（AWS）上で設計・構築され、高い拡張性を実現、オープンAPIを通じてアクセスチャネルの多様化が可能。
 - ②新しいサービス拡充や機能追加が低コストかつ短期間で実現でき、経営環境の変化に柔軟かつスピーディに対応が可能。
 - ③銀行事務が紙からデジタルに変革し、一部のお取引を除き、伝票レス・印鑑レスになるなど、スムーズな窓口手続きが可能。
 - ④印刷コスト削減や店舗の省スペース化など業務効率化を実現。
 - ⑤お客様の情報を効率的に整備・統合する営業・融資関連システム（FutureBANK）の導入により、迅速かつ最適な提案が可能。
- (3) 次世代バンキングシステムは、2028年度内の稼働を予定しております。

【次世代バンキングシステムのイメージ図】



1. 【次世代バンキングシステム更改】SBI次世代バンキングシステム採用決定

- (4) 「次世代バンキングシステム」の導入により、Web取引を拡充するとともに、抜本的な事務削減や効率化を図り、事務量の削減を踏まえ、じもとグループの“強み”である「対面による営業活動」に、さらに注力してまいります。
- (5) これまで以上に、お客さまのニーズに「スピーディ」かつ「的確」に対応することで、「お客さまから選ばれ続ける銀行」をめざします。

【じもとグループがめざす姿】

中長期的に実現すべき将来の銀行業務の姿

- ① 取引先毎オーダーメイド支援（資金繰り、事業再生）、多様なライフコンサルティングなど、コンサルティング機能の発揮
- ② Web取引の拡充による顧客利便性の向上、新サービスの展開
- ③ データ利活用による、顧客ニーズに応じたサービス提供、業務効率化
- ④ 営業店・本部の事務削減、経営資源を事務部門からコンサルティング部門へシフト

「お客さまから選ばれ続ける銀行」へ

1. 【次世代バンキングシステム更改】プロジェクト名決定

- (1) 次世代バンキングシステムへの更改にあたり、グループ全職員の意識統一、参加意識醸成等を目的として、プロジェクト名（呼称）の公募をグループ全職員を対象に実施いたしました。
- (2) 応募数は396件にのぼり、選考の結果、プロジェクト名を「じもとミライ！」に決定いたしました。
- (3) プロジェクト名「じもとミライ！」には、「じもとホールディングス、そして地元の未来に向けて、役職員全員で取り組んでいこう！」という思いを込めております。

じもとミライ！プロジェクト



中長期的な経営強化を進め、めざす金融グループの姿を実現

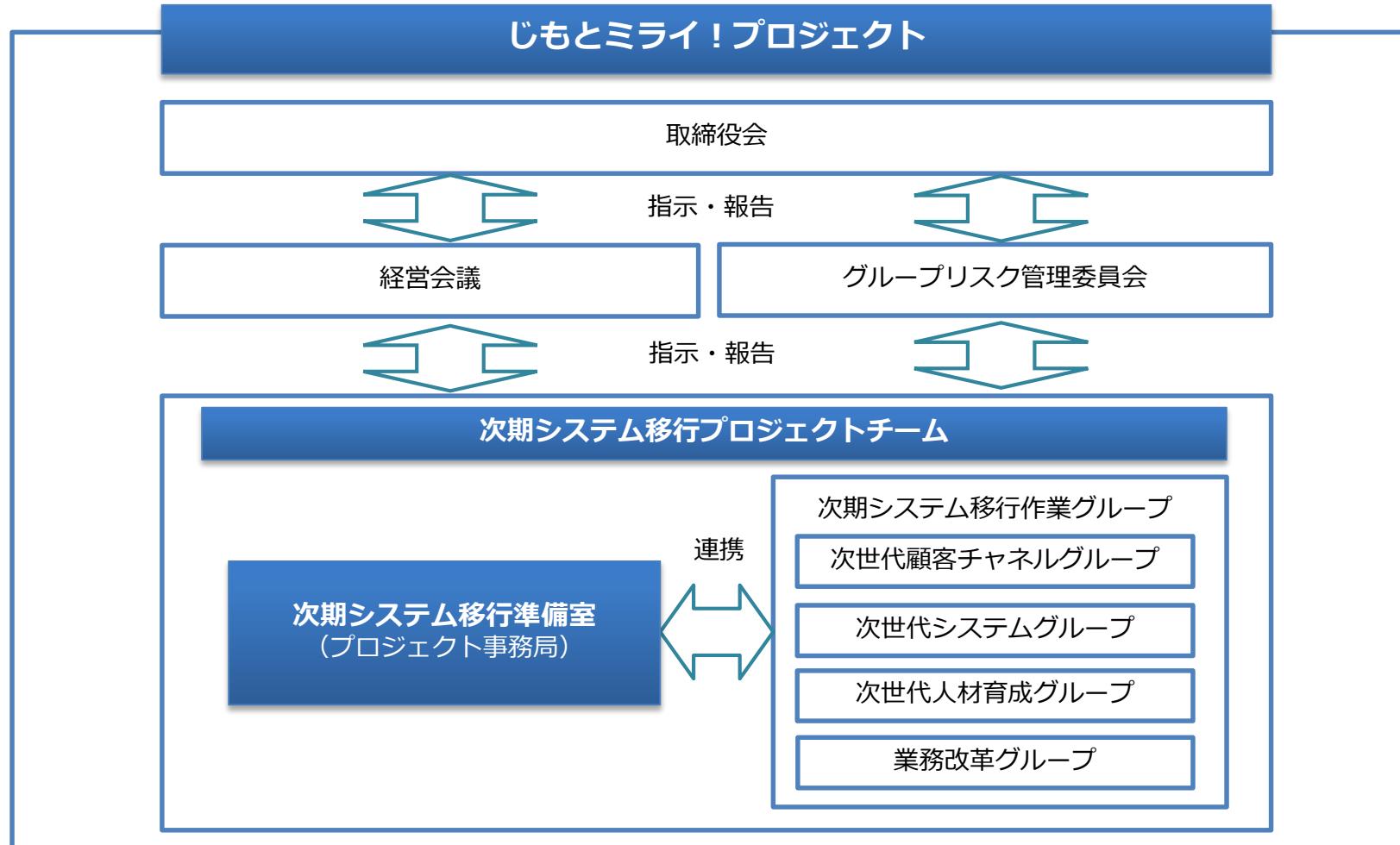
<プロジェクト名公募 表彰式の様子>



左から、西塚会長（きらやか銀行頭取）、命名者の仙台銀行阿部行員、坂爪社長（仙台銀行頭取）

1. 【次世代バンキングシステム更改】プロジェクト体制

- (1) じもとホールディングス内に、両行職員の中から選出した「次期システム移行プロジェクトチーム」を設置（57名体制）。
- (2) プロジェクト事務局として、「次期システム移行準備室」を設置（プロジェクトチームのうち25名）。
- (3) じもとホールディングスが、プロジェクト全体を統括する体制としております。



1. トピックス (きらやか銀行)

サイバーセキュリティセミナー

- ◆DX支援の1つとして、当行ではサイバーセキュリティ対応に取り組んでおります。
- ◆サイバー攻撃対策のコンサルティングなどを行うグローバルセキュリティエキスパート社と当行は業務提携を締結いたしました。
- ◆業務提携に伴う取組として、経営者向けサイバーセキュリティセミナーを開催いたしました。



<お客さまの声>

- ・サイバーセキュリティセミナーに対する基本的な考え方の他、昨今のサイバー攻撃事例なども確認することができ、大変有意義なセミナーだった。
- ・職員全員がサイバー攻撃の課題を共有していくことが重要だと認識した。セキュリティ教育も検討していきたい。

事業承継セミナー

- ◆当行では経営者や後継者等の皆さま向けに事業承継セミナーを開催いたしました。事業承継時のポイントや事例などについて、事業承継に精通した当行職員が説明しております。
- ◆お客さまの思い描く未来となるよう当行では営業店・本部一体で事業承継をサポートしてまいります。



<お客さまの声>

- ・参加してよかったです。後継者がないため前向きに検討したい。
- ・後継者不在で誰にも言えず悩んでいたが、セミナーを受けて、ぜひ相談したいと思った。

地域課題解決室への名称変更

- ◆これまで当行は本業支援を掲げ、中小企業のお客さまを支援してまいりましたが、人口減少や働き手の不足など地域や私たちを取り巻く環境が変化するなかで、地域全体の問題（地域課題）に取り組むことが地域経済の活性化に繋がると考えました。
- ◆経営者の皆さまが特に課題と感じている「DX支援・事業承継・人材支援」を地域課題解決の3本柱とし、当行では支援態勢を整備するため、本部組織の名称を「法人サポート部 本業支援室」より「法人サポート部 地域課題解決室」へ変更いたしました。
- ◆また、「地域課題解決」という新たな視点を加えた新たな経営理念を掲げました。（右記に記載）

<経営理念> 地域と共に生きる

不变的なもの

- ・「地域課題解決」を通して「地域に暮らす人と産業」に活力をもたらし、地域と共に生きること。
- ・本業支援を通して『地元の中小企業』と『そこに働いている従業員の皆さん』から喜んでいただき、地域と共に生きること。



1. トピックス（仙台銀行）

第55回仙台広告賞 テレビ部門「大賞」受賞

- ◆当行は、仙台広告協会や新聞社など8社が共催する第55回仙台広告賞において、テレビ部門で「大賞」を、ポスター部門で「銅賞」を受賞いたしました。

- ◆イメージCM、イメージポスターともに「仙台銀行がある町」として地域ごとに職員やお客さまが出演し、その地域の特徴が伝わる内容となっております。



台原支店 グランドオープン

- ◆当行は、台原支店を建替えし、2025年6月16日にグランドオープンいたしました。
- ◆オープニングセレモニーでは、じもと応援すずめ組がお祝いのすずめ踊りを披露いたしました。
- ◆新店舗は、宮城県の木材を一部使用した木造2階建てで、木造ならではの温かみが感じられる店舗となっております。
- ◆以前よりも広くなった駐車場とゆっくりご相談いただける応接ブースで、お客さまをお迎えしております。



寄付型定期預金「じもと応援定期預金」

- ◆当行は、2023年10月からお預入れいただいた残高の一定の割合を、当行負担のもと「じもと」宮城のために活動する団体等へ寄付する「じもと応援定期預金」の取扱いを行っております。

- ◆これまで、SENDAI光のページメントや在仙プロスポーツ球団、宮城みどりの募金、仙台・青葉まつり協賛会へ総額281万円の寄付を行いました。



夏休み金融経済教育イベントの開催

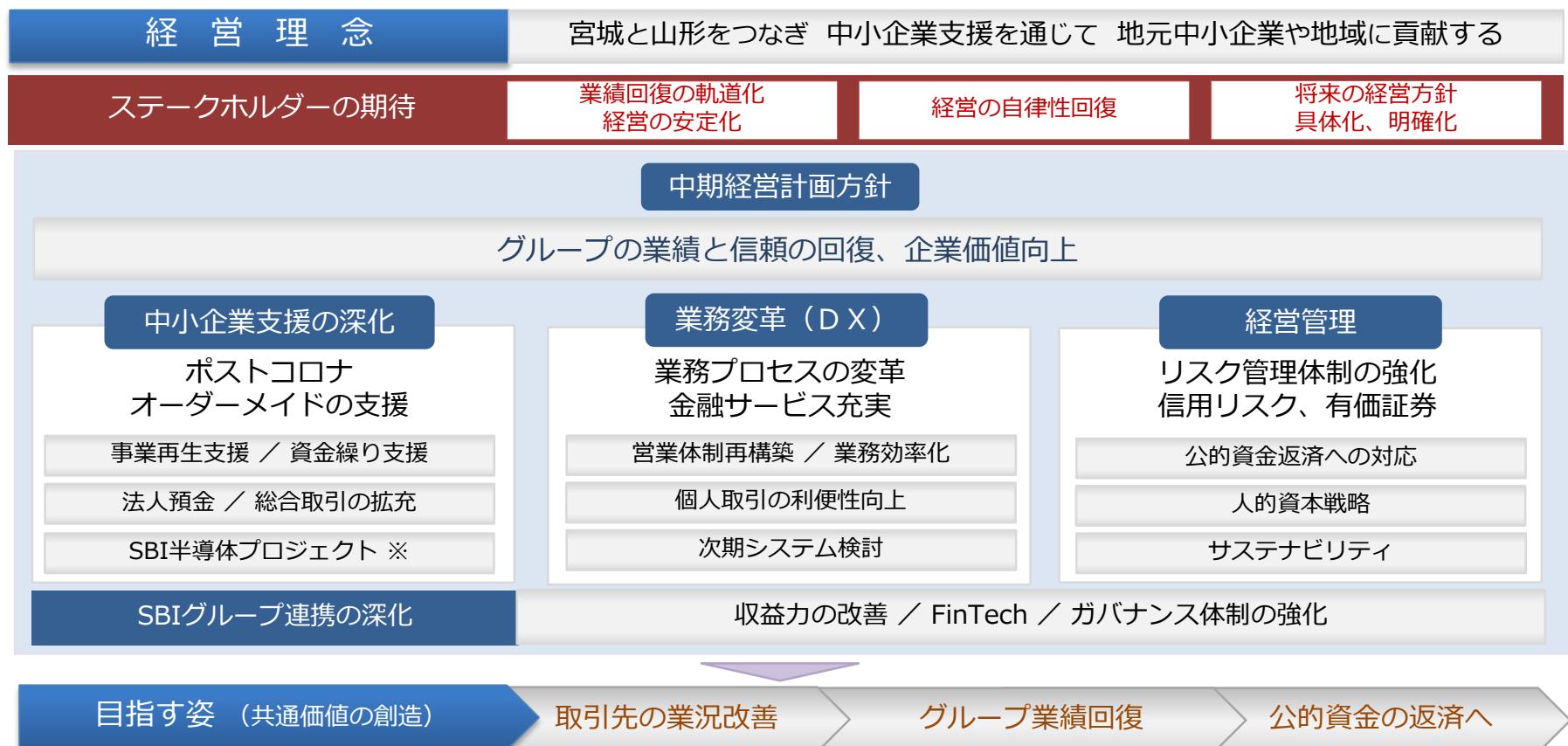
- ◆当行は、小学3～6年生の親子を対象とした、夏休み金融経済教育イベント「親子で学ぼうお金のキホン」を開催いたしました。
- ◆当行オリジナルの教材を使った、銀行の役割やお金の基礎知識を学ぶ講座のほか、理想の家づくりゲームを通じて、お金の計画的な使い方を親子で学んでいただきました。
- ◆今後も、金融経済教育の実施により子どもたちの金融リテラシー向上に努めてまいります。



2. 中期経営計画の進捗状況

経営理念と目指す姿

- 当社グループの経営理念は、「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことです。
- 中期経営計画（2024年～2026年）では、「**グループの業績と信頼の回復、企業価値向上**」を計画方針とし、「**中小企業支援の深化**」「**業務変革（DX）**」「**経営管理**」において、「**SBIグループ連携**」を深めながら、地域創生、業務変革のスピードアップ、経営管理の高度化に取り組みます。
- これらの取り組みを通じ、取引先業況の改善、グループ業績回復、公的資金返済へつなげる「**共通価値の創造**」の実現を目指していきます。



- 物価上昇局面における適切な経営改善支援や、取引先の状況に応じたオーダーメイドの支援をスピーディーに実施しております。
- 資金繰り支援に加え、事業再生/成長支援が重要であり、震災特例・コロナ特例の公的資金受入行として、コンサル子会社と連携して経営支援を行っております。
- 創業支援に積極的に取り組んでおります。特に、宮城県内の信用保証協会創業関連融資の取扱いは、県内トップの実績です。
- 電子地域通貨や企業版ふるさと納税などの活用により、地方自治体の地域再生計画を支援してまいります。

中小企業支援

創業支援

- ◆宮城県信用保証協会創業関連融資

2025年度上期実績		県内シェア
実行件数	119件	43.2%
実行金額	945百万円	45.1%

地域課題解決

- ◆地域課題解決へ注力するため、「地域課題解決室」を新設（きらやか）
- ◆共通の地域課題である、「人材」「事業承継」「DX」の解決に向けたコンサル子会社との連携

仙台地区戦略

中小企業貸出平均残高

2025年度上期	5,073億円
対前年同月末比	増加 90億円
伸び率	1.8%

SBI半導体プロジェクト

- ◆半導体PTによる情報収集を継続
- ◆SBIグループの半導体事業展開を注視しつつ、企業誘致情報も収集し、半導体産業活性化に貢献してまいります

地方創生への貢献

企業版ふるさと納税

- ・宮城県内の23自治体と提携し、地域再生計画を支援

電子地域通貨

電子 地域通貨

- <山形県山形市>
・ベニpay 第6弾

引き続き、ヒアリングや情報提供を継続し、自治体との連携拡大を目指します

業務変革（DX）

- 金融テクノロジーの進展、地域社会の人口減少の加速など、取り巻く経営環境が大きく変化する中、当社グループは、環境変化への迅速な対応を経営課題としております。
- 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で進め、経営資源を効率的に再配分し、営業体制の増強につなげております。また、SBIグループの知見やノウハウも積極活用し、新たな金融サービスの提供や業務の再構築に取り組んでおります。
- 次期勘定系システムの移行へ向けてプロジェクトチームを設置し、グループ内の移行プロジェクト体制を整備いたしました。

「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で推進

店舗戦略

【店舗網の見直し 2025年度】

計画的な店舗統合による合理化
中小企業支援の人員を創出

エリア営業体制(きらやか)

- 北村山営業部
- 鶴岡営業部

2地区

店舗の新築移転

- 仙台銀行 高砂支店
(2026年秋頃、
新店舗の営業開始予定)

1店舗

業務効率化・DX

次期勘定系システム更新対応 プロジェクトチームを設置し グループ体制を整備

きらやか銀行ネット支店 口座開設キャンペーンの展開 新たな預金商品の取扱い

バンキングアプリ 機能強化による利便性向上 次期勘定系システムとの連携

業務プロセスの効率化・合理化

人員戦略

地域課題解決へ向けた体制整備 (きらやか銀行)

- ・地域課題解決への取組姿勢の明確化、支援体制の整備
- ・人材育成

職員の再配置による営業体制増強

- ・業務変革により創出した人員を営業担当へ順次再配置

女性・若手職員の営業力強化

- ・共同研修の開催
- ・育成ノウハウの共有

SBIグループ連携の積極活用

- 経営強化計画に基づく黒字決算と配当を継続し、株価の回復につなげるとともに、公的資金返済に向けた利益剰余金計画の達成に向けた対応を進めてまいります。
- 信用リスク管理について、与信審査管理向上に向けたグループノウハウの共有や外部知見の導入、取引先の実態把握へのHDの関与を深めるなど、グループ管理を強化・継続してまいります。
- 多様な人材が活躍できる職場環境を目指して、人事制度の見直しや運用改善を進めております。意欲と実力と成果に基づいた、能力・個性を発揮し、成長・活躍できる組織づくりを進めております。

資金政策・株価対策

経営強化計画の遂行

- ◆経営強化計画に基づく黒字決算と配当の継続
- ◆利益剰余金計画の達成に向けた対応

PBR・ROE改善への取組み

- ◆課題である安定収益の確保に向け、公的資金を活用した地元企業支援、与信リスク管理への取組み

サステナビリティ対応

- ◆CO2排出量削減やサステナビリティ関連投融資の目標を設定、進捗状況を公表
- ◆女性管理職比率15%へ向けた取組み

リスク管理態勢の強化

信用リスク管理

- ◆取引先の的確な実態把握、HDの関与を深めてグループ管理を強化
- ◆SBIグループから取締役1名を招へいしきらやか銀行の管理体制を強化

有価証券リスク管理

- ◆SBIグループとの連携による評価損改善、再投資への対応
- ◆SBIポート以外（債券、株式、投資信託等）の投資対応

社外取締役の知見活用

- ◆本部職員との面談、営業店訪問を実施
- ◆社外取締役の知見をさらに活用し、グループ重要課題の協議を拡充

人的資本戦略

女性・若手職員の活躍推進

- ◆女性管理職比率15%へ向け、役席者を対象に「女性リーダー養成研修」を共催
- ◆多様な職員の人材育成や両行職員の意見交換のための「ダイバーシティ推進セミナー」を共催

ワーク・ライフ・バランス

- ◆適正な勤務時間管理の実施
- ◆育児休暇取得者の職場復帰支援
- ◆「養育両立支援休暇」制度の導入

人権の尊重・職場改善

- ◆組織風土の改革（きらやか）
- ◆「ハートコントクト運動」の継続実施（仙台）

⑤ SBIグループとの主な連携状況

- 当社グループは、SBIグループとの連携を積極活用し、中小企業支援、業務変革、経営管理、人材育成の各分野で提携効果を発揮しております。
- 2025年9月、SBIグループが提供する「次世代バンキングシステム」の採用を決定・公表いたしました（詳細は、「1. 次世代バンキングシステム更改」の項目を参照願います）。
- 2024年9月、きらやか銀行に、SBIグループから同行へ取締役1名（業務執行）が就任し、内部管理体制の強化を進めております。

SBIグループとの主な提携実績

- 法人戦略**
 - ◆無料ECサイト構築支援
 - ◆事業性ローン団信取扱
 - ◆DXデータベースによるデジタル化支援
 - ◆トレーサビリティサービスの提供
 - ◆企業型確定拠出年金
- 地方自治体支援**
 - ◆地域通貨(プレミアム商品券)の電子化
 - ◆企業版ふるさと納税
- 個人戦略**
 - ◆きらやか銀行ネット支店
 - ◆住宅ローン団信、がん保険
 - ◆銀行代理業による住宅ローン
 - ◆個人版確定拠出年金
 - ◆投資信託商品
 - ◆投資用不動産事業に係るアパートローン
 - ◆保証付住宅ローンの取扱開始
 - ◆個人ローンの広域展開（きらやか）



- SBIマネープラザ**
 - ◆共同店舗運営、資産運用提案の向上
 - ◆相続に係るコンサルティング業務の強化
- 人材トレーニー派遣**
 - ◆SBIネオファイナンシャルサービス（FinTech）
 - ◆SBIHD生成AI室が執り行う「SBI地域生成AI研究会」に参画
- ファンド出資・融資連携**
 - ◆SBIインベストメント組成ファンド出資
 - ◆SBI新生銀行が組成するシンジケートローンへ参加
- ネット支店・バンキングアプリ**
 - ◆WEB定期預金・口座開設キャンペーン
 - ◆機能強化による利便性の向上

⑥ 業績回復への取り組み（きらやか銀行）

- きらやか銀行は、「**考動改革！～意識を変える・行動を変える～**」をスローガンに掲げ、役職員が一丸となって全力で取り組んでおります。
- 主要課題である**信用リスク管理**について、じもとHDやSBIグループの協力を得ながら、企業支援体制や貸出審査体制の再構築を図りました。営業店では、お客さまへの訪問を徹底し、経営支援や事業整理等を的確にサポートすることで、信用リスクの抑制に努めております。
- きらやか銀行の経営陣は、職員との面談と対話を重視し、業績回復への様々な意見やアイディアを募って実践するなど、組織風土の改革を進めています。
- SBIグループとの連携を強化し、全国のお客さまを対象にした、新たな預金商品やWeb完結ローンを展開するなど、お客さまの利便性を高めてまいります。

<h3>地域課題解決室を新設</h3> <p>「地域の課題解決」へ注力</p> <ul style="list-style-type: none">◆地域課題解決への取組姿勢を明確にし、支援体制を整備◆人材紹介・育成、事業承継、DXを3本柱として取引先のサポート開始◆サイバーセキュリティ対策セミナー開催	<h3>エリア制の導入</h3> <p>北村山営業部、鶴岡営業部の2つのエリアでスタート</p> <ul style="list-style-type: none">◆エリア中核店とエリア連携店を配置◆エリア中核店に渉外業務と融資業務を集約し担当エリアの重複解消◆運営効率化による地域のお客さまとの接点増加と職員のノウハウ共有	<h3>顧客基盤強化</h3> <p>SBIグループとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none">◆ネット支店（SBIさくらんぼ支店）での各種キャンペーン◆全国のお客さまを対象とした、預金商品やWeb完結ローンの展開
<h3>現場重視</h3> <p>タウンホールミーティングを開催</p> <ul style="list-style-type: none">◆役員が営業店や本部を回り職員と直接対話する取組◆現場の生の声を経営に反映させる◆経営の方針を直接伝達する	<h3>企業支援体制</h3> <p>企業支援専担部署の拡充</p> <ul style="list-style-type: none">◆企業支援部による営業店サポート強化◆事業再生や事業整理の提案、実行サポート◆若手職員の財務分析、業種別審査ノウハウ研修を開催	<h3>組織風土改革</h3> <p>有志30名を中心に組織風土の改善策を企画し実行する取組</p> <ul style="list-style-type: none">◆次世代を担う若手職員がじもとから愛され続ける銀行であるために必要な取組を企画するワークショップを開催◆リファラル採用制度やウェルカムバック採用制度の新設・運用開始

ネット支店 各種キャンペーン

きらやか銀行 SBI GROUP きらやか銀行SBIさくらんぼ支店

– 取扱商品の一例 –

金利マッシュ定期預金
お預かり総額に応じて
金利最大 年1.5%
税引後 (1.195%)

普通預金
キャッシュプレゼントプログラム
四季のボーナス
普通預金に100万円以上のお預け入れで自動エントリー
お得な普通預金利年 0.30% + キャッシュプレゼント!!

一番人気の「預入期間」で金利が変わる!
定期預金ダービー
金利 年0.4%~ 最大年1.2%
2025年12月1日(月)~2026年3月27日(金)

3. じもとグループのサステナビリティ (サステナビリティ活動報告)

① サステナビリティ基本方針

- 当社グループは、2021年12月に「サステナビリティ基本方針」を制定、2022年4月に「サステナビリティ推進グループ」を設置しました。
- 持続可能な社会の実現に向けて、役員研修や支店長会議でグループ方針を周知し、中小企業支援と各主要課題に取り組んでおります。

サステナビリティ基本方針

じもとグループは、地域金融グループとして「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことを経営理念としております。

この経営理念に基づく事業活動を通じて、取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献し、併せて、当社グループの中長期的な企業価値の向上にもつなげていく「共通価値の創造」の実現を目指してまいります。

1. じもとグループは、宮城県と山形県の地元中小企業が直面する、地域経済の縮小、人口の減少・高齢化、後継者問題などの中長期的な課題への対応、業況の改善に取り組んでまいります。
2. じもとグループは、環境問題、職員の健康・労働環境の改善や公正・適切な待遇、人権尊重、東日本大震災の被災経験等を踏まえた危機管理などに取り組んでまいります。
3. じもとグループは、国連が提唱するSDGsの趣旨に賛同し、持続可能な地域社会の実現に向けて、外部連携も活用しながら、社会的な課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

中小企業支援を通じた取引先への取組み
(金融機関としてなすべきこと)

主要課題への取組み
(上場企業としてなすべきこと)

取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献
当社グループの収益改善

「共通価値の創造」の実現へ

② サステナビリティ投融資方針

■当社グループは、「サステナビリティ基本方針」に基づき、取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献する投融資業務に取り組むにあたり、「サステナビリティ投融資方針」を制定しております。

サステナビリティ投融資方針

1. 積極的に取り組む企業や事業分野

取引先や地域社会の持続可能な発展にポジティブな影響をもたらす可能性の高い企業や事業活動に対して、継続的かつ積極的に投融資を行い、支援いたします。

- (1) S D G s ・ E S Gの趣旨に沿った経営を志向する企業および事業活動
- (2) 地域企業の創業、イノベーション創出・成長・D X推進に取り組む企業および事業活動
- (3) 再生可能エネルギーや省エネルギーなど気候変動リスクの低減に取り組む企業および事業活動
- (4) 脱プラスチックや森林資源保全など環境問題の解決に取り組む企業および事業活動
- (5) 社会問題の解決に取り組む企業および事業活動

2. ネガティブな影響の低減・回避

取引先や地域社会の持続可能な発展に極めて大きいネガティブな影響をもたらす可能性の高い事業分野に対しては、原則、投融資を行いません。

- (1) 新設の石炭火力発電事業
- (2) 原生林や生態系の破壊など環境への甚大な影響が懸念される森林伐採事業など
- (3) 人権侵害や強制労働が懸念されるパーム油農園開発事業など
- (4) クラスター爆弾製造関連事業などの非人道的事業

3. サステナビリティ関連投融資の実行目標および実績

サステナビリティ関連投融資について、2030年度までに1,000億円の実行を目指します。

実行目標（2030年度末）	累計実績（2024年度）
1,000億円	627億円

③ 中小企業支援を通じたサステナビリティ

- 当社グループは、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域の中長期的な課題の解決に対応。取引先や地域社会の持続的な発展に貢献することで、当社グループの企業価値を向上させてまいります。

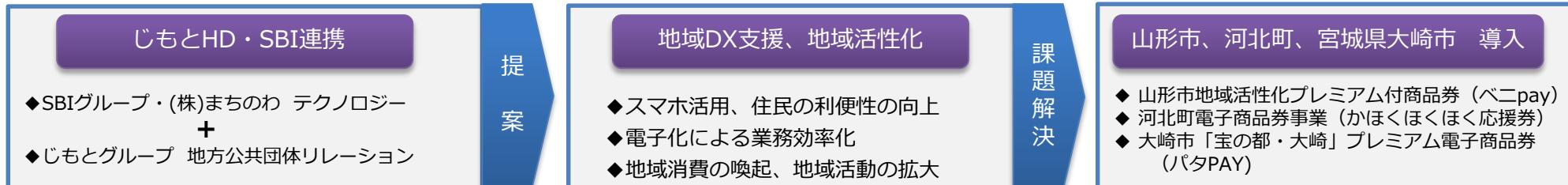
〈中小企業や地域の中長期的な課題〉



〈課題解決への取組み〉

ポストコロナ	地域経済の縮小	人口の減少・高齢化	後継者問題
<ul style="list-style-type: none">◆取引先への訪問、面談の徹底◆スピード重視の資金繰り支援◆事業再構築補助金の申請支援	<ul style="list-style-type: none">◆県境を越えた新たな商機創出◆地公体へ電子地域通貨支援◆サステナビリティ関連投融資	<ul style="list-style-type: none">◆中小企業のデジタル化支援◆企業主導型保育施設の設置◆外国人技能実習生の受け入れ支援	<ul style="list-style-type: none">◆次世代の地域経営者の育成◆経営人材の紹介、婚活支援◆事業承継・M&A支援

〈地公体へ電子通貨支援〉



主要課題への取組み

- 当社グループは、上場企業、地域企業として取り組むべき、サステナビリティの5つの課題を設定して取り組んでおります。
- 従業員や取引先など、多様なステークホルダーとの良好な関係を構築することを通じて、持続可能な社会の実現を目指しております。

主要課題 1 気候変動などの地球環境問題

項目	取組み状況
電力消費量削減	【削減実績】 △26千kwh ※2024年9月末対比
照明設備のLED化	【実施率】 100% (81カ店全店で実施完了) ※2025年9月末時点
CO2排出量の削減 (Scope1,2合算)	【削減率】 △45.8% (2030年度削減目標：2013年度対比△46.0%)
気候変動リスクへの対応	<ul style="list-style-type: none"> TCFD提言への賛同 気候変動リスクシミュレーターによるシナリオ分析

主要課題 2 人権の尊重

項目	取組み状況
通報相談窓口等の体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 内部通報窓口、ハラスメントに係る相談窓口を設置。通報先に外部弁護士を追加。ハラスメント事案の発生防止、早期発見に取り組んでおります。 従業員の人権、個性を尊重するとともに安全で働きやすい環境を確保するため、「カスタマーハラスメント対応方針」を制定しております。
研修を通じた職員への啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> 職場でのハラスメント予防、コンプライアンスの各種研修を実施しております。 <p>【きらやか銀行】 コンプライアンス研修6回／管理職対象研修2回／職場研修3回 【仙台銀行】 次長課長補佐対象研修1回／職場研修6回</p> <p>※期間：2025年4月～2025年9月</p>

主要課題への取組み

主要課題 3 従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇

項目	取組み状況
健康・労働環境	<ul style="list-style-type: none"> 時間外労働時間の削減、勤務間インターバル制度、有給休暇の取得推進など、ワークライフバランスの実現に向けて勤務時間の適正な運用管理を実施しております。 健康診断とストレスチェック（毎年1回）、産業医・保健師等の相談窓口により、職員の心身の健康管理を実施しております。
公正・適切な処遇	<ul style="list-style-type: none"> 「人材育成方針」に基づき人材育成に取り組むと共に、職員のキャリア形成を後押しするため「人材育成キャリアマップ」を策定しております。 職員毎の目標管理、能力考課を柱とした人事考課制度を運用しております。 併せて、職員の自発的な能力開発に向けたサポート体制を整備しております。

主要課題 4 取引先との公正・適正な取引

項目	取組み状況
規程や担当部署等の体制整備	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスマニュアル、利益相反管理方針等の制定（守秘義務、説明義務・適合性の原則、苦情・相談・トラブルへの対応、善管注意義務と顧客財産保護、顧客との癒着排除等） コンプライアンス委員会でのルール遵守状況チェック、問題事案への対応 苦情受付窓口の設置
研修を通じた職員への啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスプログラム、コンプライアンス研修の実施

主要課題 5 自然災害等への危機管理

項目	取組み状況
事業継続体制	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画（地震発生、大規模災害、感染症発生時）を策定し、定期的に災害訓練を実施しています（年2回）。 営業店への自家発電装置、止水板の設置など、災害に強い設備を整備しています。
災害発生時の業務運営	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時の銀行取引の特例措置への迅速な対応（現金払出し、小切手・手形決済、喪失通帳の再発行、各種手数料の減免等）

⑤ 人事戦略、投資

人材育成の取組み

- 当社グループは、銀行業務の拡大や働き方改革が進展する中、様々な選択肢をもった人事制度を構築し、性別や採用経緯等に関わりなく、多様な人材が活躍し、能力を発揮できるよう人材育成に取り組んでおります。
- 研修受講やSBIグループとの人事交流については、公募制を導入するなど、職員に対して均等な教育機会を提供しております。

人材育成	取組み状況
能力開発	階層別研修、行内FPスクール、業務別研修、行内外トレーニー研修
女性の活躍促進	女性渉外の営業力強化・早期戦力化に向けた研修を両行で共催
外部連携	SBIグループとの人事交流の実施（トレーニー派遣、SBI地域生成AI研究会への参画）

	管理職に占める女性職員割合 (2025年10月1日現在)	正職員に占める 女性職員割合	新規採用職員に占める 女性職員割合
きらやか銀行	11.9 % (16名／135名)	45.5% (297名／653名)	46.2% (6名／13名)
仙台銀行	15.2 % (19名／125名)	47.1% (336名／712名)	45.4% (20名／44名)

目標：15 % 以上 (2026年3月末)

＜参考＞ 当社グループの女性役員は2名（うち社外取締役1名）となっております。

・じもとホールディングス社外取締役監査等委員：1名 ・仙台銀行取締役監査等委員：1名

⑤ 人事戦略、投資

社内環境整備の取組み

- 当社グループは、金融テクノロジーの進展、地域社会の人口減少の加速など、地域金融機関を取り巻く経営環境が大きく変化する中、スピード感をもって業務変革に取り組んでおります。
- これらの環境変化に対応するためには、性別等に関わりなく、働き甲斐と働きやすさ、自己実現ができる環境を整備することが必要であり、当社グループは、「育児や介護との両立支援」や「新たな働き方・人材育成」の環境整備を進めております。

育児・介護の支援	取組み状況
休業制度等	育児休業、介護休業、短時間勤務の支援制度を完備 不妊治療及びがん治療に使用できる「ヘルスサポート休業制度」の導入
社会全体での子育て支援	育児休業の取得を促進（男性職員の取得も推奨）
育児休業者へのフォロー	フォローアップセミナーの開催、職場復帰事前面談・研修の開催
職場への復帰支援	企業主導型保育施設の設置、企業主導型保育事業者との保育園利用提携
勤務エリア	居住地域から通勤可能な範囲での転勤に限定できる勤務エリア選択制度を運用
多様な人材の活躍支援	取組み状況
正社員登用制度	非正規職員から正職員への登用制度を運用
ベテラン職員の活躍支援	定年後もシニア職員として勤務が可能な制度を運用
専門人材の育成	専門性の高い業務に従事するSPコースと営業職に特化するFCコースを設定
若手職員活躍支援	指導員制度による新入行員指導、企業訪問研修「チャレンジダイバーシティ制度」 公募制の外部出向を通じた育成支援、「キャリア形成サポート面談」による若手のキャリア形成支援
キャリア・リターン制度	結婚、出産、育児、介護、転職等で退職した元職員の再雇用制度を運用
旧姓の継続使用	職員の婚姻等による改姓後も旧姓をビジネスネームとして使用可能に

⑤ 人事戦略、投資

ワーク・ライフ・バランス関連指標

	きらやか銀行	仙台銀行
年次有給休暇取得率（2024年度）	59.2%	63.1%
平均残業時間（2024年度／月間）	15.7時間	9.2時間
平均勤続年数（2025年3月末現在）	男性：21.7年 女性：18.3年	男性：16.8年 女性：11.2年
男性の育児休業取得率（2024年度）※	73.3%	114.2%

※男性の育児休業取得率 = 年度内に育児休業等を取得した男性労働者の数 ÷ 年度内に配偶者が出産した男性労働者の数

知的財産への投資

	主な実施状況
経営支援	<ul style="list-style-type: none">きらやかマネジメントスクール（山形大学等と連携、次世代の地域経営者育成）／累計受講者210名（1～7期）仙台銀行ビジネスクラブ次世代経営塾／累計受講者数92名（1～6期）
外部連携	<ul style="list-style-type: none">SBIグループとの連携によるDX等の金融テクノロジーの導入、吸收

⑤ 人事戦略、投資

主な表彰・認定実績

やまがた子育て・介護応援いきいき企業「優秀（ダイヤモンド）企業」

やまがたスマイル企業「ダイヤモンドスマイル企業」

山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰（2015年度）

きらやか銀行

均等・両立推進企業部門山形労働局奨励賞（2015年度）

山形県障害者雇用優良事業所表彰

次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」

イクボス宣言、やまがたイクボス同盟加盟

宮城県 女性のチカラを活かす企業認証制度「ゴールド認証企業」

宮城県いきいき男女にこにこ子育て応援企業 最優秀企業（2018年度・2024年度）

宮城県・宮城労働局 魅力ある職場づくりモデル企業表彰

次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」

仙台銀行

次世代育成支援対策推進法に基づく不妊治療と仕事との両立サポート企業「プラチナくるみんプラス」認定

イクボス宣言、イクボス企業同盟・みやぎイクボス同盟加盟

みやぎ働き方改革実践企業認証

厚生労働大臣女性活躍推進法「えるぼし認定」

仙台市障害者雇用貢献事業者表彰

ベビーファースト運動参画

4. 2026年3月期第2四半期 グループ決算の状況

決算の概要 - HD連結中間純利益14億円 -

- **経常収益**は、国内金利の上昇に伴う貸出金利息の増加や有価証券利息配当金の増加により、前年同期比+2,453百万円の**21,609百万円**となりました。
- **経常利益**は、経費や与信関係費用が増加したことなどから、前年同期比△758百万円の**1,464百万円**となりました。
- **親会社株主に帰属する中間純利益**は、前年同期比+68百万円の**1,482百万円**となりました。

(単位：百万円)

	連結（一部2行合算）		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比
経常収益	21,609	2,453	9,557	690	9,398	1,631
業務粗利益	12,559	△469	6,683	△275	5,807	△189
資金利益	12,185	568	6,128	223	6,079	356
役務取引等利益	839	△446	688	△216	62	△236
その他業務利益	△465	△592	△134	△282	△334	△309
うち国債等債券損益	※	△462	△414	△128	△102	△334
経費（△）	11,224	403	5,697	255	5,341	214
コア業務純益	※	1,913	△519	1,113	△427	800
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	※	1,900	△522	1,113	△427	787
与信関係費用（△）	※	755	488	37	131	717
株式等関係損益		556	599	113	255	442
経常利益	1,464	△758	1,073	△345	230	△459
特別損益		242	298	1	29	294
法人税等合計（△）		226	△550	72	△346	131
親会社株主に帰属する中間純利益	1,482	68	1,001	30	393	25

※きらやか銀行、仙台銀行の2行合算計数です。

資金利益 - 国内金利が上昇し、資金利益が改善 -

■貸出金利息は、国内金利上昇の影響により、前年同期比+18.5億円の**133.6億円**となりました。

きらやか銀行は、中小企業向け貸出が減少しましたが、消費者ローンが増加したことから、前年同期比+7.0億円の65.3億円となりました。

仙台銀行は、住宅ローンや中小企業向け貸出が増加したことから、前年同期比+11.4億円の68.2億円となりました。

■有価証券利息配当金は、債券利息が増加したことなどから、前年同期比+4.2億円の**7.3億円**となりました。

■預金利息は、国内金利上昇の影響により、前年同期比+17.6億円の**21.6億円**となりました。

(単位：億円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比
資金利益	122.0	5.8	61.2	2.2	60.7	3.5
貸出金利息	133.6	18.5	65.3	7.0	68.2	11.4
有価証券利息配当金	7.3	4.2	3.8	2.3	3.4	1.9
預金利息	※ 21.6	17.6	10.3	8.2	11.2	9.3
平均残高						
貸出金平均残高	19,171	122	9,514	△145	9,657	267
有価証券平均残高	4,014	278	1,282	250	2,732	27
預金平均残高	※ 23,543	△517	11,366	△301	12,176	△216
利回り						
貸出金利回	1.39	0.18	1.38	0.17	1.40	0.20
有価証券利回	0.36	0.20	0.60	0.30	0.25	0.15
預金利回	※ 0.18	0.15	0.18	0.15	0.18	0.15

※預金には、譲渡性預金も含みます。

貸出金・預金 - 貸出金残高、預金残高とともに増加 -

■貸出金残高は、地元中小企業のニーズに応じたオーダーメイド融資、仙台地区を中心とした住宅ローン需要へ対応し、前年同月末比+261億円の**1兆9,310億円**となりました。

きらやか銀行は、消費者ローンが増加しましたが、中小企業向け貸出が減少したことなどから、前年同月比△31億円の9,510億円となりました。

仙台銀行は、中小企業向け貸出が増加したほか、住宅ローン需要に積極的に対応したことにより、過去最高の9,800億円となりました。

■預金残高は、法人預金および個人預金の増加により、前年同月末比+33億円の**2兆3,618億円**となりました。

(単位: 億円)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2025年9月末	前年同月末比	2025年9月末	前年同月末比	2025年9月末	前年同月末比
貸出金残高	19,310	261	9,510	△31	9,800	293
中小企業向け貸出	10,673	△88	5,660	△137	5,012	48
消費者ローン	6,731	461	2,721	201	4,010	259
うち住宅ローン	5,954	230	2,250	△17	3,704	247
地方公共団体向け貸出	859	△34	270	△16	589	△18
預金残高 (譲渡性預金含む)	23,618	33	11,404	22	12,213	11
個人預金	14,915	41	7,500	10	7,414	31
法人預金	6,388	216	3,536	67	2,852	148
公金預金	2,274	△227	350	△54	1,924	△172

有価証券 – 国内金利上昇に伴い、運用額を増加 –

- **有価証券残高**は、投資環境や市場動向を踏まえた投資やポジションの見直しなどにより、前年同月末比+227億円の**3,713億円**となりました。
- **その他有価証券の評価損益**は、国内金利上昇の影響を受けしたことなどにより、前年同月末比△1億円の**△236億円**となりました。
- 引き続き、SBIグループと連携し、運用によって生み出される利益を充当することなどにより、評価損の中長期的な解消に取り組んでまいります。

(単位：億円)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2025年9月末	前年同月末比	2025年9月末	前年同月末比	2025年9月末	前年同月末比
有価証券残高	3,713	227	1,192	268	2,520	△41
国債	467	415	297	297	169	117
地方債	357	1	–	–	357	1
社債	511	1	151	△19	359	21
株式	100	3	66	4	34	△0
その他証券（海外債券：国債・地方債等）	2,276	△195	677	△14	1,599	△181
その他有価証券の評価損益	△236	△1	△101	△1	△135	△0
株式	11	6	2	2	8	4
債券	△14	△8	△2	△1	△12	△6
その他	△233	△0	△101	△1	△131	1

役務取引等利益 - 生命保険販売手数料が減少、団信保険料等が増加 -

- 2行合算の役務取引等利益は、預かり資産手数料などの役務取引等収益の減少および役務取引等費用の増加により、前年同期比△452百万円の**751百万円**となりました。
- 預かり資産手数料は、生命保険販売手数料や投資信託販売手数料がそれぞれ減少となりました。
- 住宅ローン・個人ローン増加による団信保険料、保証料などの役務取引等費用が増加しています。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行		
	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比	
	役務取引等利益	751 △452	688 △216	62 △236	役務取引等収益	2,929 △341	1,502 △168
受入為替手数料	691	4	368	△5	322	10	
預かり資産手数料	528	△375	203	△174	324	△200	
(うち 投資信託販売手数料)	61	△21	27	△4	34	△17	
(うち SBIマネープラザ手数料)	84	10	42	9	42	0	
(うち 生命保険販売手数料)	340	△362	134	△180	206	△182	
法人向け手数料	376	60	163	△12	212	73	
(うち 私募債発行手数料)	26	△5	15	△11	11	5	
(うち 業務提携手数料)	99	7	29	12	70	△4	
(うち 定額サービス手数料)	148	△12	119	△13	29	1	
その他	1,332	△31	766	23	566	△55	
役務取引等費用	2,177	111	814	47	1,363	64	
支払為替手数料	174	△2	122	△2	52	0	
個人ローン保証料	854	45	213	32	640	12	
その他 (住宅ローン団体生命保険料等)	1,149	68	478	17	671	51	

- 当社グループは、経営効率化に向けて「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で推進しております。2行合算の経費は、前年同期比+470百万円の**11,039百万円**となりました。
- 「店舗戦略」については、両行が店舗内店舗方式（ブランチ・イン・ブランチ）による統廃合を進めており、両行合算の実質店舗数は、前年同期比△1カ店の**81カ店**となっております。
- 「人員戦略」については、「店舗戦略」や「業務効率化・DX」による創出人員を営業担当へ再配置しております。一方で、全体の人員数は両行合算で前年同期比△24名となりました。
- コアOHRは、前年同期比3.94ポイント上昇し、**85.22%**となりました。

(単位：百万円、店舗、人、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比
経費	11,039	470	5,697	255	5,341	214
人件費	5,191	229	2,650	163	2,541	66
物件費	4,947	203	2,601	91	2,345	111
税金	900	36	445	0	454	35
店舗数 (ブランチ・イン・ブランチ形式での実質店舗数)	81	△1	35	0	46	△1
人員数	1,323	△24	640	△26	683	2
コアOHR	85.22	3.94	83.65	5.73	86.97	1.80

与信関係費用、金融再生法開示債権 – 不良債権処理が進展 –

■与信関係費用は、不良債権処理額の増加などにより、2行合算で前年同期比+488百万円の**755百万円**となりました。

■金融再生法開示債権残高は、前年同期比△363百万円の**91,766百万円**。不良債権比率は、△0.07ポイントの**4.67%**となりました。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比
与信関係費用	755	488	37	131	717	356
うち一般貸倒引当金繰入額	115	17	–	–	115	17
うち個別貸倒引当金繰入額	384	204	–	–	384	204
うち貸倒引当金戻入益	125	10	125	10	–	–
金融再生法開示債権残高	91,766	△363	57,538	△2,786	34,227	2,423
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,652	△2,129	11,148	△2,956	3,503	826
危険債権	73,614	1,755	45,830	△0	27,783	1,755
要管理債権	3,499	11	559	169	2,940	△158
不良債権比率	4.67	△0.07	5.90	△0.25	3.45	0.14

(単位：百万円、%)

	2行合算			きらやか銀行			仙台銀行		
	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率
金融再生法開示債権の保全	91,766	80,830	88.08	57,538	48,375	84.07	34,227	32,455	94.82
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14,652	14,652	100.00	11,148	11,148	100.00	3,503	3,503	100.00
危険債権	73,614	64,047	87.00	45,830	37,101	80.95	27,783	26,946	96.98
要管理債権	3,499	2,130	60.88	559	125	22.43	2,940	2,005	68.19

自己資本比率、ROE - 連結自己資本比率 8.12% -

- 自己資本の額は、両行の中間純利益の計上により、前年同月末比+10億円の**1,088億円**となりました。
- リスク・アセット等は、バーゼルⅢ最終化に伴う計測手法の見直しや、きらやか銀行の貸出金残高が減少したことなどにより、前年同月末比△610億円の**13,391億円**となりました。
- 以上により、**連結自己資本比率**は、前年同月末比0.43ポイント上昇し**8.12%**となりました。
- ROE**は、中間純利益ベースで前年同期比+0.09ポイントの**2.75%**となりました。

(単位：百万円、%)

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2025年9月末	前年同月末比	2025年9月末	前年同月末比	2025年9月末	前年同月末比
	自己資本の額	108,832	1,053	55,132	61	54,555
リスク・アセット等	1,339,150	△61,012	632,228	△56,995	701,810	△4,535
自己資本比率	8.12	0.43	8.72	0.73	7.77	0.19

(単位：%)

	2行合算		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比	2025年9月期	前年同期比
	ROE（業務純益ベース）	2.63	△1.93	4.37	△2.35	1.24
ROE（中間純利益ベース）	2.75	0.09	4.44	0.14	1.40	0.07

- 2026年3月期第2四半期は、きらやか銀行の与信関係費用が当初予想を下回ったことなどから、経常利益や当期純利益が当初計画を上回りましたが、2026年3月期通期においては、同行の与信関係費用が事業再生支援の実施などにより当初予想どおりを見込んでいることなどから、当初計画どおりの業績を見込んでおります。
- 今後も引き続き、本計画を着実に実行することにより、公的資金返済に向けた剩余金の積上げに取り組んでまいります。

(単位：億円、%)

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2026年3月期 計画	2025年9月期 実績	2026年3月期 計画	2025年9月期 実績	2026年3月期 計画	2025年9月期 実績
コア業務純益（2行合算）	48	19	26	11	21	8
経常利益	21	14	7	10	13	2
親会社株主に帰属する当期純利益	17	14	5	10	11	3
貸出金平残（2行合算）	19,261	19,171	9,492	9,514	9,768	9,657
預金平残（2行合算）	23,458	23,543	11,303	11,366	12,154	12,176
ROE（2行合算）※1	1.5	2.7	0.9	4.4	2.0	1.4
自己資本比率	7.2程度	8.12	7.4程度	8.72	7.5程度	7.77
コアOHR（2行合算）	82.0	85.2	81.3	83.6	82.8	86.9
顧客向けサービス業務利益（2行合算）※2	37	14	16	7	21	7

※1 ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本（普通株 + 優先株）

※2 顧客向けサービス業務利益 = 貸出金残高 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費

2026年3月期 業績予想と配当予想

- 2026年3月期の連結業績予想は、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益17億円を見込んでおります。
- 年間配当金（2026年3月期）は、普通株式1株あたり5円00銭を予定しております。
当社が国の公的資金を受入れるにあたり発行している優先株式の配当予想は、所定の配当金を全額配当することを予定しております。
年間配当水準は当社連結の通期業績予想に連動して予想しますことから、中間配当を見送り、期末配当に一本化させていただきます。

＜業績予想＞

(単位：百万円)

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2026年3月期 予想	2025年3月期 実績（参考）	2026年3月期 予想	2025年3月期 実績（参考）	2026年3月期 予想	2025年3月期 実績（参考）
経常利益	2,200	2,130	700	399	1,300	1,458
親会社株主に帰属する当期純利益	1,700	1,563	500	500	1,100	885

＜普通株式・配当予想＞

(単位：円、1株あたり)

	中間	期末	年間
2026年3月期	0円00銭	5円00銭	5円00銭
2025年3月期（参考）	0円00銭	5円00銭	5円00銭

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総合企画部

TEL : 022-722-0011 (代表)

<https://www.jimoto-hd.co.jp>